

コムズ映画上映会 & ミニトーク

令和3年11月13日、コムズ映画上映会を開催しました。上映作品は、『82年生まれ、キム・ジョン』です。また、午後の部では特定非営利活動法人 ワークライフ・コラボ 代表理事 堀田真奈さんによるミニトークがありました。

《あらすじ》 結婚・出産を機に仕事を辞め、育児と家事に追われるジョン。常に誰かの母であり妻である彼女は、時に閉じ込められているような感覚に陥ることがあった。そんな彼女を夫のデヒョンは心配するが、本人は「ちょっと疲れているだけ」と深刻には受け止めない。しかしある日のこと、ジョンは、まるで他人が乗り移ったような言動をとるようになった。世界が広いと信じていた子供時代、女性としての生きづらさを初めて知る少女時代、必死に勉強して入った大学から就職への壁。職場でのハラスメント。結婚・出産で会社を辞め、社会から切り離されていくような気持ちを抱える日々、そして再就職への困難な道。女性の人生に当たり前のようにひそむ困難や差別が淡々と描かれる。



© 2019 LOTTE ENTERTAINMENT All Rights Reserved.

参加者の感想

映画の中でのお子さんと同じくらいの子どもがいますが、共感する事がたくさんありました。男性に比べ女性はまだまだ生きにくい世の中です。多くの女性が生きにくいと感じない世の中になってほしいです。(20代 女性)

2才1ヶ月の娘がいます。今の私は主人公そのものでした。ずっと見たかった作品でした。自分を大切にしていこうと思えました。(30代 女性)

同年代で自分に重なるようだった。子どもにはこの女性と同じような思いをさせたくない。社会が変わっていくように願うし、私も日々言動に気を付けたいと改めて思わされた。(40代 女性)

日本でも同じような風景があると思った。ならわしにしばられることなく、今最善と思う生き方を男女お互いの思いやりの気持ちを前提に築いていきたい。(60代 女性)

自分が悪いと思う事がいけないと思う。時代背景も影響していると思うが力を抜くことも必要だと思った。(60代 女性)



午後の部の上映前には特定非営利活動法人 ワークライフ・コラボ代表理事 堀田真奈さんを講師に迎え、「子育てはキャリア！“私の悩み”は社会の課題」をテーマにミニトークをしていただきました。ここ10年で様々なことが変化してきましたが、育児に関する働き方の改革は未だに過渡期であり、子育てを含めたワークライフバランスの確立や、ライフプランを作成することの大切さなどを自身の経験を織り交ぜながらご講演くださいました。また、男女共同労働についても、女性であるために「こうあるべき」「しかたがない」という従来の働き方・働かせ方に疑問を持ち、様々な条件の人が働きやすい社会のために、共感できずとも理解をするというようにして、少しずつ視点をアップデートすることの必要性もお話くださいました。



講座で使用した資料の一部

みなさんに質問です②

★みなさんは、
いまの生活に満足していますか？

- 満足と思っている人 →どんなことに満足していますか？
- 不満足と思っている人 →何に不満を持っていますか？
例えば：家族との関係、友人知人との関係、地域活動、趣味、自分の時間の使い方、など

「不満足」にこそ、改善のタネがあり、
それが地域の課題かもしれません。
気づけば「変える」ことができます。

ライフプランを立ててみることも大切！

1. 学ぶ (いつ、どこで、何を学ぶ?)
2. 働く (いつから? 何を?)
3. どこでどのように生きる? (故郷、県内外、国外)
4. 誰と生きる? (親と、パートナーと、子どもと等)
5. 目標や夢は? (その時々やりのいい? やり続けたいことなど)



キャリア教育では、**2の働くこと、だけ**を言われがちですが、
それ以外の部分が実は重要です！

子育ても仕事も“想定外”だらけ、 想定外こそキャリア！

- ・子育ては想定外。想定外に対応していくことで、いろんな視点が身に付いています。
- ・我が子に出会い、深い愛情だけではなく、子どもが泣き止まないことに腹が立ったり、小さな“できた”を見つけて喜んだり、思い通りにならないことに何度も泣いたり、大人になって初めて感情の揺れ幅の広さを経験することもあるでしょう。
- ・こんなこともあるんだ、と理解し、なんでこうなんだろう、と疑問を持ち、どうすればいいか、と考え。
- ・このプロセスは、まさに仕事でも必要なプロセスです。キャリアです。この経験が仕事に活かされ、職場環境を変えていくきっかけになった先輩パパママたちがたくさんいます。今のままで大丈夫！

参加者の感想

堀田さん自身の経験も含めおはなしいただき、分かりやすかった。映画を見る際にポイントとなる視点を感じれた。(20代 女性)

共感しなくても理解はできる、という言葉に納得した。女は結婚、その次は出産、その後は家を建てるなどずっとプレッシャーがあって損だと、どうしても思ってしまう。(30代 女性)

子どもの世代と自分達の世代では全く世の中の考え方が違っている。そして、私の上の世代ともまた全く違っている。どの人も平等に性差なく充実して生きていける世の中になっていくと良いと思うし勉強になった。(50代 女性)

日々の人間関係や職場の理不尽になれてしまっている事に気付かされました。(50代 女性)

時代は変化しています。世代間のズレも生じています。昔の常識が今は通用しないこと、広い視野でいっしょに元気な明るい住みやすい世の中に変えていく視点を教えられた気がします。(60代 女性)

子育て中は男性は仕事、女性は家事、育児という分担が当たり前の時代でした。今日のお話を聴き、確かにこれからは夫婦で分担してやっていくべきだと思います。(70代以上 女性)